

恋の夜 殺しの夜 ポルノの夜

■出席者

小山 乃里子 <フリーアナウンサー>

榎 忠 <絵画研究会・Oの会々員>

大塚 勲 <大塚勲と45・リーダー>

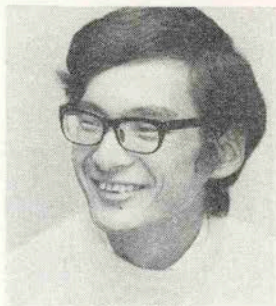
座 学 誠 <大塚勲と45・フィドゥル>



編集部 今日、アメリカヘブル
ーグラスの修業に行かれた大塚勲
と45のバンドの方、またヨーロッ
パへ旅行にいかれた小山さん、榎
さんにお集まり頂いて、若者の眼
でふれた世界の一コマをさっくば
らんに語って頂きましょうか。

★ブドー酒のみに歩いた スペインの麦畑

榎 ほくの属している絵の研究会
「0会」では一、二年前から、会
から一人外国へ出そうとお金を積
み上げてたんです。それを一年以
上在籍のメンバーの中でアミダク
じをして、幸運がほくの方を向い
たというわけなのです(笑) 最初
なので、一応、絵の方の団体に加
わって行っただけで、スケッチ
旅行だから、ほとんど自由行動を
してました。一カ月位オランダ、
フランス、スペイン、イタリー、
それに、ギリシャ、ドイツ、スイ
スへも少し廻ってきました。
小山 私はラジオ関西を七月いっ
ぱいで止めて、ヨーロッパに行こ
うと、去年の秋位から決めてまし
てね。私も最初一人で行きたいと
思ってたのだけれど、全然わか
ないし、予算もないで、うまい
具合に七月三〇日に出る団体があ
ったので、それにのっかっちゃっ
たわけ。でもとにかく、いろいろ
自由に歩いてきました。私もパ



大塚 勲さん

リ、オランダのアムステルダム、ロンドン、ドイツへ行つてフランクフルト、ハイデルベルグ、スイスのベルン、ジュネーヴ、ローザンヌ、シャモニー、イタリーのミラノ、ローマ、フロレンスと、わりと沢山廻つてきちゃった。ちようど一カ月ぐらいね。

大塚 ほくらは、ラルフ・スタンレーが公演で来日した時に、マネージャーで来ていたフリーランドというレコード会社の社長さんが呼んでくれるという建前でいったわけなんです。

小山 旅費持ちで？

大塚 そうでもないんですねエ。



廖 学斌さん

結局いろんな世話をしてくれたわけなんです。マネジャー兼バス・ドライバーって自称してましたけどね(笑) 六月十七日に日本を發つて、三カ月位ワシントンDCの近くに、アパート借りて、ほくら兄弟に、渡辺兄弟、廖君、五人ですね。そこを根拠にアメリカ東部、上から中部まであちこちのブルグラス・フェスティバルを廻つたんです。まあ、ブルーグラス武者修業つてとこかな(笑)

榎 スペインの田舎へ行つた時はおもしろかったね。安いんやなー、とにかくね。ブドー酒一杯五円位とかね。田舎をずつとまわると、二、三十軒ずつの部落がある。それを四、五km、ひどい時だったら十km位ずつと歩いてな。麦畑の中を、ブドー酒のみにね(笑) 向うでは殆んどブドー酒のんでたな、ドイツではビールのんだけど。

大塚 ドイツのビールおいしい？

榎 ちょっとわからへんけど……感じいいな。向うは小ビンやね、口に銀紙巻いてあつて、ほとんど口飲みで、コップなんか出してこない。そりゃいいとこ行つたら出してくれるかもしれないけど(笑) ほくがいったの、日本でいえば立ち飲みみたいな所だからな。フランクフルトやったから、ゴツツイフランクフルト食べながら。また向うの人は飲ましてくれるんや、

唄うとうたりなんかしてな、こーんな大きな人ばっかしやろ、ほくら背低いから、腕くんでのむと、こぼれてしまふんや(笑) ほとんど子供扱い、リトル・ボーイとかなあ(笑) ケツサクや。

廖 酒のむ時、バスポート見せろつていれなかつた？

榎 それはいれなかつたな。

廖 ほく、しょっちゅういわれてた(笑) いつもバスポート持つて歩かないかん(笑)

榎 スペインでは、トレドという人口二万人位の田舎に行つたんや景色はいいし、空気もいいしねー太陽がきれいいうのか、影がきれいな。ものすごく！

廖 アメリカもきれいやつたよ。

★ユーモラスな車と車のけんか

榎 アムステルダムに行った時はものすごいヒッピー見たな。

小山 アムステルダムのセントラル・ステーションの横に、ダム広場というのがあつて、そこがヒッピーのたまり場で、帰ってから聞いたら、そこがヨーロッパのヒッピーのたまり場だったんですつて女の子もすごいおしゃれしちゃつて、汚ない感じじゃないけど。私も4日間位、そこへ行つて座ってたけど、夜も彼らはそこで寝袋にくるまって寝てたわよ。彼らとは余り話しなかつたけど、子供と



小山乃里子さん

小山 最初借りたときこわかったけど、あとはもう全然平気、自転車走ってたらずとまってくれるしね。

知り合いになつてね。煙草なんかスパスパすっちゃってスゴイませてるの。十一歳と十二歳の子、兄弟に兄貴のガールフレンド。女の子、十二歳なんだけど、ものすごくかわいいのよ。背なんか私より高いし、足なんかすらつとしてね。私、向うで貸自転車借りて一緒に行った男の子三人と走りまわってた時知り合ったわけ。その男の子たちが、その女の子がかわいいっていうんで、一緒に写真とったり、何かおごったりしてたら、兄貴の方、フクレて家へ帰っちゃったりしてね(笑)



榎 忠さん

榎 自転車多いな、ものすごく。大塚 ものすごいガタガタの車走ってるものね。フェンダーは日本だったからさわってもヒューいうでしょう。向うではフェンダーなんかあてるもんや、駐車のときボンボン当てながら入る。

榎 トレドの泉はひどかったな。深夜の十二時から一時頃、噴水が止まったら、若い人がなかに落としたお金をとりに来る。

小山 そんなノお昼間からとってるのよ。こっちがボーンとコインを放るでしょ。すると子供が噴水にとびこんでとっちゃうの。ホントご利益も何もないわよ。だから殆ど落ちてないの。鵜飼みたいな。兄貴分がいて弟分が服のまま飛びこんでひろってきたのを点検してね。だから私、五円玉放り込んでやった、ザマミロと思つてね。でもやっぱり向うお金放るでしょ。警官がたまに見廻りにやってきて、ピーッと吹くと一せいにいなくなるけど、それだけで別に取締らないから、また、寄ってくるの。もうトレドは愛の泉とかいわれてるのに幻滅。

一番良かったのはスイスカなあああいう自然は日本にはないものね。モンブランの山に行った時、ちょうど誕生日を迎えたの。今日、誕生日なの。っていうと向うの人は「オー・ライオン」ってパツというの。獅子座でしょ。それで山の花いっぱい摘んできてくれて、おめでとうってうれしかった。

大塚 ほくの弟も、あつちで誕生日迎えてね、旅先だったけど、それでも社長さんの奥さんが、車で四時間位のところをバースデー・

ケーキ運んできてくれたつけ。

★馬と牛に囲まれた放送局

小山 ナツシニビルに行った？

廖 行きました。着いたら音楽が鳴ってるから最初はびっくりしたけど、中へ入ったらあまりあまり僕らやってる音楽と又違うから。

小山 有名な劇場があるでしょ。

廖 グランド・オーブリー。

大塚 そこにも出演しましたけど、観光の街ですね。

廖 観光客ばかり。それに田舎のオジサン、オバサン。

小山 放送局なんか見て来なかった？ちっちゃな放送局がいっぱいあるでしょ。

廖 田舎の国道あるでしょ。そのハタに牧場みたいのがあって、その中にボツンとある(笑)そのまわりに馬とか牛とかいるわけ。

大塚 ローカル放送局が多いですね、音楽専門の局ばかり。それとニュース。一種類の音楽ばかりかけてるわけ。一日中ウェスタンならウェスタンばかり。だから僕らにとっては、いつでも自分の好きな音楽の局に合わせばいい小山 その辺がヨーロッパと全然違うでしょ。ヨーロッパなんて、ロンドンでも一局か二局。フランスでは国营放送、オランダでも民間が二局位。

廖 でもアメリカのローカル局は

働いてる人数が少いですよ。

大塚 家族にもう一人雇ったり。

廖 音楽ずつと流して、時々ペラペラとしゃべる。レコードかけてる間にトイレかけこんだり(笑)

僕ら一回レコード出してもらったけど、それも時間決まってなくて「かけよか」ってレコードかけてインタビュ、チョロチョロツとして、ハイ終わりました。日本の放送局とエライ違い(笑)

小山 有名な歌い手さんには会った？

大塚 日本では一般的でないかもしれないけど、ブルーグラスの中では好きな人たち、レスターフラットカスタンレーとか全部会いました。

廖 はじめ、ビルモンローに会った時なんか、この人ビルモンロー？ ホントかな？(笑)

大塚 入口の所でおまえの車あっち行けとか整備している雑役人夫みたいな人が彼だった。自分たちで何もかもやるわけね。ステージつくるのもビルモンローとバンドの人たち皆でね。全然気取ってないわけ。その辺、カントリー・ミュージックと違うところ。

小山 それがいいところね。

大塚 やっぱ田舎から出た音楽だし、いつまでも田舎人のつもりでいるわけよ。

★カラーライトつけ

とてもきれいな飾り窓

榎 ところで飾り窓へは行った？

小山 だって本場じゃない。行かないや損だもの(笑)社会見学と思っただけに行ったら、六千人もの女の子がいる。ものすごいチャミングよ。足なんかすりなりとして。榎 各々自分の部屋に好きなカラーライトなんかつけて、とてもきれい。

大塚 中へ入ったら違う人だったってことない？(笑)

榎 でも飾り窓は入ったあと、別の出口から出られるようになってる。見学だけだけだね、僕は。いや、ほんまに(笑)

小山 日本人には、やったら会ったわ。一緒にいった男の子のかわりに英語で契約してやったの。やり手ババアなんて(笑)最初に契約しないですってたらだめね。一枚ぬぐ毎にお金とられたりして。

榎 余分な金や貴重品、身につけてたらあかん。ストリップも行ったけど、すごく優雅なんや。舞台装置に30分以上かかる。

小山 そうよ(笑)でもストリップ・ショーも、アベックがほんとにフランクに入ってきて、話しながら見てるのね。それからポルノのおみやげ頼まれちゃってね。ポルノなんて余り見たことないか

ら、セックス・ショッブなんてホイホイ入っていったら、気分悪くなっちゃってね。モノスゴイ、エゲツないもん。

榎 日本なんかでいうボルノとは全然違うもんね。ボルノいったら精密に描写するいうことやから。

小山 何せ美的センスなんかないもんね。『こんなの即物的で美的センスないし全然だめだ』っていったら一緒に行った男の子が一生懸命探してくれてね。黒と白とですごくきれいな見つけてくれたの。でもえげつないのばかり見てたから、全然おもしろくないのよね(爆笑)

大塚 ワシントンDCなんかそんな店ばかりだもんね。

榎 こんな小さな覗き穴からみる映画があつて、続き見ないとしょくないようになる(笑)

大塚 何回で終りとか書いてあるね(笑) 何かおもしろい映画やっているのかあつて見に行くと、全然おもしろいねん(笑)

榎 都会は劇場・映画いうたら殆どセックスもの。books & movie っていうたらおきまりの言葉だからね。

大塚 田舎はないけど、都会の方が墮落してるんだね。

榎 アメリカの夜はどんなん？
廖 恐しい、恐しい。

榎 ヨーロッパでは、子供なんか

でも夜中走りまわってるけど。

廖 僕らでも、街をうろうろ歩きまわったらいかん。たまには出ても直立不動の姿勢のままよ見せんとサツサツサツと歩いて帰る。黒人と目が合ったら恐いもんね。大塚 殺人なんかしょっちゅう。

榎 僕は、夜が気に入ったな。スベインなんかでもそうだけど、夜遅くまで街へ出て家族中で遊んでる。それとおしゃべりが好きやな。ええ年したオッサンがペラペラしゃべつと。僕らにしたら何か事件か思うようやけど、それが毎日なんや。仕事終って、着替えて食事して。奥さん連中やったら、衣裳の見せあいとかね。広場では奥さん連中が手たいて踊ったりね。田舎の方に、グレコの作品をずっと模写してる東京の人がいて、その人が住んでいる部落に連れてってもらったけど、広場と教会が必ずあるんや。そして広場で毎週闘牛がある。お祭りやなそしてダンス・パーティ。アベックも集まって来て、踊れなかったらいつまでも恋人できへん(笑)

大塚 僕ら廻ったのは田舎だから夜の楽しみはないけど、向うは週五日制だから、一日休みをとって週末の金・土・日と三日間、フェスティバルに行く人が多い。ロッキ・フェスティバルなんか若い人ばかりだけど、僕らブルーグラ

スのフェスティバルは、宣伝じみるけど子供からおじいちゃん、おばあちゃんまで、赤ん坊も連れてくるわけよね。家族でステーション・ワゴンなどに乗って来る。三日間泊って、いろんなバンド見て、年寄りも昔からあるバンドひいきにするし、若者は新しいバンド、ロックをフォーク調にアレンジしたバンドなどに集まる。たいいてい湖があり、その隣にステージがあつて椅子を自分たちで持ってきて並べたり、そこが木立になつて、朝の十時から夜中の十二時までずーっと音楽鳴りっぱなし。好きな時に聞きにきて、退屈になったら、車のとこに帰って自炊したり、あちこちで舞台とは別に、アマチュアが演奏してるのを見にいったり、いいですよ。

★圧倒された文化の足跡

榎 向うの宮殿にはまいったね。

フランスにしたって、スペインにしたって、イタリアにしたって。

ローマのパチカンのサン・ピエトロ寺院にしたって、すごいな。装飾というか、建築というか、人間技という感じ違うな、人間がやったんやけどな(笑) すごいな、恐しいな。感激とかそんなもん違う、ただもう圧倒されてしまうてな。

美術館入ってもそうやった、古典的な絵見ても、描写力はすごかっ

た。今、日本にかぎらず何処の国

でも現代美術というのが出てきてるのがようだった。また若い人たちが何をやるべきか、はつきりした。とにかく、絵描きとか画伯とかいう時代はもう終わったという感じしたな。もつと芸術の根本を把握して、僕が二七歳なら二七歳のやるべき考えなり、やるべき行動をもつと発表せなあかんと思っただ。やっぱり歴史が大切いうか、昔の人がやってくれたことを引き継いで、ただそれを真似してやるのではなしに、次々に変わって、次の人間のためとか、まあいうたら文化やな、それをすごく感じたな。

小山 何かつかんできたわけだな私はまるきり遊びで行ってきたから、何かということもないけど、まあ、エエカッコじゃなしに秒単位みたいな仕事してるでしょ。帰ってもまたしなきゃいけないっていうんで、とにかく見れるものを見て行きたいところ行って……あんなことまたないんじゃないかな。榎 ぼくもそれはそうやったな。小山 でも、慣らされちゃったのかなと思っただけど、すごくステキな景色見たり、人に会ったりすると、帰ってしゃべる内容に考えてまとめちゃうわけよね。どういふふうにしたらおもしろく伝わるかな。あたしやダメだと思っただ。

ね(笑)

大塚 アメリカでブルーグラスのコンテストがあつて、いろんなバンドが各地から集まつてきて演奏したんだけどその中に、隣の県から出て来た全く田舎の人ばかりのバンドが出場した。技術は全く下手糞だけど、ところが昔から伝わって来た精神はバツチリ持つてる。僕らのやつてる普通のバンドは都会人がやつてるから、バンジョーもおもしろいこと弾くし、ギターもうまい。けど、精神の入ってる入ってないで、全然比べものにならないわけよね。そのバンドは予選で落ちたんだけど、でも全体見てどちらの方がいいものか、というと、昔のものがやつてる方がいい。もちろん昔の音楽をポピュラーにするために新しい衣かぶせてやつているのもいいんだけど、それと、その辺考えさせられたな。

それと、僕らのステージで、日本の曲やるとすごく受ける。『さくらさくら』 滝廉太郎の『花』『木曾節』などやつただけど、そういうものと、アメリカの伝統音楽から来たブルーグラスと融合してやつたら、おもしろいものも生まれるんじゃないかという意見もよく聞いた。でも、それはすごく難しい。結局、西洋音階だし全然違うわけ。それに日本は明治以降ガラッと変わっちゃって、僕らでも

日本の昔の唄や民謡なんか全然覚えてないしね。初代の文部大臣は「や／＼」いうことになるんだけど(笑)ところが、アメリカの本当のフォーク・ミュージックは変なところで日本の民謡に似てるわけ五音階だし、バンジョーは三味線に似てる。そういうところみると、まだ融合する余地もあるしそこらへんで突破口もあるんじゃないかと思う。やつてみたいね。

向うの人はブルーグラスとか何とか知らなくても、良い音楽だったら何でもいってわけで、週末に家族で野原での音楽を楽しんで帰る。日本でもああいうのやれたらいいなあって思う。まあ、三カ月の演奏期間で感じたこと、これからおいおわかってくるだろうと思う。

榎 僕らでも、今帰ってきて具体的に何かをといわれても、何もないの。僕は今の現代美術に意識あるから、表面的にさっきいうたようなこと感じただけだね。本当にそうかいいうたら、そうでもないしね。なんらかの感じで、これから生きていく、食べていく上でかわってくると思う。それだけやと思っただ。

小山 とにかく、また、どっか行きたいわあ。

榎 大塚 行きたいなあ。

11/15 OPEN

地中海の花と風とファッション
ロックのリズムとおしゃれなあなた
大人のプレーが生まれます。



maison
de
fashion

hanayashigui

SANNOMIYA FLOWER-
ROAD SHIYAKUSHO-MAE
PHONE 078 (251) 2109

さんプラザ 味のガイド



★潜り戸は楽しいものだ。田舎の風情は嬉しく都会人の心をゆさぶる。小皿、鉢、徳利、盃など信楽焼の色合いが和風造りの木の肌によく合って、うれしい。かわいいみずずちゃんとおばちゃん笑顔でむかえられる。冬場のかす汁(150円)や湯どうふ(180円)も暖ったまる料理として好評。昼時にはやよいの里(280円)串かつ定食(250円)。ちょっとぜいたくな味のたかのり(500円)は、魚とえびと惣菜の盛りつけ料理で奥さま方に喜ばれている。

和風季節料理

花

さんプラザ地階 TEL 331-0087

営業時間 AM11:00~PM9:00

★11月に新装なった福寿しは白木の香もまだ新しい日本情緒豊かな店として、また味自慢の寿しで好評だ。冬場は田舎鍋定食(400円)福寿鍋(700円)など活きのいい魚を使った暖ったかい鍋物が色どりをにぎやかしている。

カウンターで一杯やりながら寿しをつまむもよし、またデートには、座敷の席でくつろぐもよし、生きのいい板前さんのかけ声が気持ちがいい店だ。江戸弁当(300円)さしみ定食(350円)天ぶら定食(350円)松前寿し(350円)小鯛雀寿し(400円)

名代鮓舗 **福寿し**

さんプラザ地階 TEL 331-2934

さんちか味ののれん街 TEL 391-5473

営業時間 AM10:00~PM10:00

●特集3/世界を駆ける神戸っ子

AIR MAIL from ETHIOPIA



ピラミッドの予言者

福岡 康年

す。バスなんて飛び乗り、飛び降り出来ないようでは決して乗れないし、乗る人と降りる人が同時なので、まるで火事場のような騒ぎです。今まで各国のバスは全部乗りこなしましたが、ここ程身の危険を感じ、二度と乗りたくない、と思った国は始めてです。

それでもお金のない悲しさか、殺人バスにゆられてピラミッド、スフィンクスを見る為にギサに行きました。着いたとたん後悔。何と眼の前にあるのは、石をつみ上げ三角の形をした、不気味なものではないか。うるさく、ハエよりもうるさくたかってくるガイド、もの売り等を振り振り、ピラミッド、スフィンクスを見ましたが、増々夢が壊されるばかりになってきました。これは何かの間違いかと思っしてしばらく考えるためにピラミッドを離れ、道端にすわっているのを考えました。ふと後の看板を見ると「心臓、及びリウマチの子供病院」という英語の文字を見つけたので「こた」と思い、さっそく入っていつて奇術慰問をしたいと告げると、すぐにでもいいから子供達に見せてやってくれ、ということ。さっそくまたあの殺人バスにつめこまれ、用意をしてみた、ピラミッドへ。そこには50人ぐらいの、7歳から12歳の子供たちが待っていました。もちろん言葉は通じないので、30分の間、子供達は驚きそして笑いました。「キヤッ」と声を出す女の子、あれはきつこうなっているのだ、などと、隣の子供に大声で解説をし、先生に静かにしなさいといわれ、テレクさそうな顔をしている子、ただもうあつけにとられている子供達、とにかく30分間は非常に楽しんでもらえたと思ってます。終って気がつく、始めた時には看護婦さんが4人だけだったのに、今は20人もいるではありませんか。皆、仕事をほったらかして見に来たということです。

アテネを出て地中海を一足とび、カイロへ。普通なら決して飛行機など乗るつもりはありませんが、アテネ、カイロ間は飛行機が一番安く、学生割引で50%引き。カイロへ着いたとたん、これは大変な所へ来たと思ひました。車と人のラッシュ。車はたえずブーブーと警笛を鳴らし、人の間をかきわけ走り、人はその車の間をかきわけ道路を横断するといった風景です。赤信号に車だけは止まるのですが、人の方はどんどん走ってくる車を右に左に、と身体をかわし、横断するのが当たり前のこと。おまけに、立往生している人々の所に鈴なり以上の人をのせたチンチン電車が突っ込んでくる。運動神経の鈍い人間は一日たりとも無事には生きられない街で



どうです？ 何もないでしょう？ エチオピアで。



男一匹、世界の果てから果てまで奇術慰問旅行。エチオピアで

ものだから触ってはいけませんよ」と注意して子供たちから守ってくれます。ところが、控室に帰ると先程の言葉とは別に、自分たちで道具を見たくてたまらなく、少し油断をしようとロープ等を勝手に取り出し、そっと見えています。子供たちとちっとも変らないのです。

控室にはどこからかけつけたのか、多数の妊産婦が押寄せて私に向かつて、

「おなかの中の子供は男か女かどっち？、教えて下さい。」と聞くのです。私が「わからない」というと、「どうしてわからないんです。あなたにはわかるはずでしょう。」「私は奇術は出来るけど、予言者じゃない」「それはうそだ、あんな不思議な事が出来るのに予言が出来ない事ないでしょう。主人も知りましたがっているのでぜひ教えて下さいよ。」

いくら説明しても誰一人として奇術と予言とが別であることを理解してくれません。出来る、出来ないで10分も押問答しましたが、彼女たちは真剣で、どうしても教えてくれといひ、教えない限りは帰れそうにない雰囲気です。私はあきらめました。こんなことになることすら予知できない自分が果たして予言者として存在できるのか不思議でしたが、私はカードを胸のポケットからとり出すことにしました。なにしろ私のカード占いの欠点は唯一つ、私が絶対占いを信じないということです。

さて、占う以上、出来るだけ正確にやらねばなりません。俗に、占いは20%当たれば上々といわれています。それならば今から占うのは男か女のどちらかです。確率は50%ではないか。私は安心しました。おまけに私の占いが当たったかどうかは数カ月あとにしかなわからないのです。私は真剣にデタラメに占ない、12名の妊産婦にそれぞれ男とか女とかをいい渡しました。そして子供達、看護婦さん、妊産婦の人達にとっても感謝されながら、私自身、今占った12名の内の1名でも当たっている事を祈りながら病院を出ました。眼の前にはピラミッドが不気味に私の方を見ておりました。

(筆者は四五年八月神戸を発ち、世界奇術慰問旅行を続けている)

●特集3/世界を駆ける神戸っ子

AIR MAIL
from
SPAIN



フラメンコの故郷

東 仲 一 矩

¡Hola! Como esta? Me bien Gracias!?

ここマドリーも、朝、夕はモモヒキの恋しくなる季節になりました。ちょうど日本の十一月頃と同じ感じですよ。公園の緑もだんだん少なくなって、金色の季節に向っています。今日の昼、ちょうどTVが天皇がヨーロッパを旅行されているのを放送していました。多分、フランスだったと思います。残念ながら、今回は当地、スペインには来られない様子……。

さて、早いもので、私が日本を立って早や六カ月になろうとしています。全く驚くばかりです。神戸カーニバルで騒いだのがつい昨日のように思っているのに……とにかく、見る物聞く物、手当り次第、がめつく、がめつ

く自分のものにしてやろうと、日夜(?)いや日々、東にカンテ(唄)のうまい人があれば行って聞いて、西にギターのうまい人あれば聞きに行き、南に素晴らしい踊り手おれば観にゆき、北に……という毎日です。今月に入ってきた、新しい踊りに入りました。それはソレアレスとって「孤独」という意味で、最高にむずかしい踊りのうちの一つです。

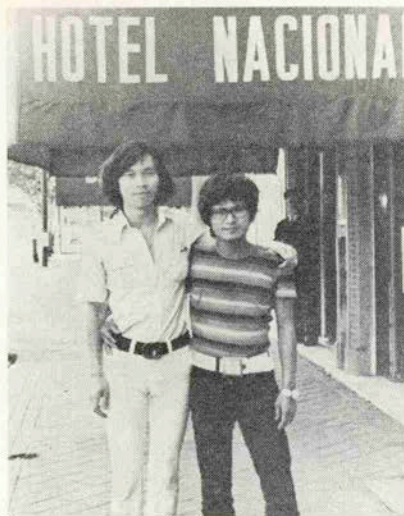
この間、日本にも来たグラン・アントニオはやはりスペインでも一番の人氣です。先週金曜日にちょうど、彼と日本の公園でペアで踊った女性と逢い、先生の家族と一緒にクラシコ・エスパニョールを観に行つて参りました。とにかくラジオをひねると必ずどこかの放送局がフラメンコを流していて、土方、運転手などの素人の人がいい声で唄っていて、見るもの聞くものすべてがすごく勉強になります。今こちらではスペインで若手のギタリストのNO・1といわれているパコ・デルシアとクラシックのセゴビアの二人が今年、日本に行くだろうといわれています。でもはつきりしたことは解りません。

私の毎日の日課は九時。十時~十一時迄踊りの個人指導を受け、四時~七、八時迄ギターを持っていて他の人と踊りのパソ(ステップ)を勉強しています。とにかくアカデミアに通っている者は皆必死で勉強しているため、無駄な時間は出来るだけ生じぬよう、注意しています。でも毎日すごく楽しいです。

先日、二週間のバカンスに行つて来ました。

グラナダ、マドリー、マラガ、コスタ・デ・ソル(地中海沿岸) ジブラルタル、モロッコ、カデス、セビリアと旅行してきました。ジブラルタルでは三日程、毎日地中海で泳ぎました。おかげで身体、顔はまっ黒で、バスポートを見せなければ誰も日本人だと信用してくれません。地中海は本当に素晴しかった。あの海の色は絶対日本では見ることが出来ないでしょう。海の緑に青、それに夕日のきれいなこと……。

それから次におもしろかったのはモロッコ、スペイン



神戸の友人榎忠君(右)がふいに訪ねてきてびっくり／
筆者(左)



スペイン北部サラゴサの近くイタのフェスティバル風景。この金棒で突き合いをして一人重傷者が出た。

の南端、ジブラルタルから船で二時間でアフリカの一番北西にある、ヨーロッパから一番近いモロッコにきました。とにかくがらりと変ってしまします。

ここは元、仏領だったため、殆んどの人がアラブ語とフランス語をしゃべり、それにスペイン語、英語と四カ国語をしゃべる人もたくさんいます。物価は安いといわれるスペインよりもまだ安く、住み良い感じですが。でもコジキ、ドロボウが多いので、安心できません。

カサブランカは日本の町と同じくビルが建ち並び面白い。でも少し離れた町に行くとき昔のままで、イスラム教の教会を中心として、迷宮のような町の通りです。女性には絶対に顔を見せず、見つめると逃げるようにして走り去ります。

田舎に行くとき昔のままでハーレムがあつて、たくさんメカケを持った男性(主として老人)がいます。メカケさん達はお互いに頭のしらみ取りをやっていました。モロッコ全体ですが昼の間からハッシシ、マリワナ等を吸ってうつろな目をした人々がたくさんいます。私も散歩して少し立ち止まるとずっと寄って来て、マリワナ、ハッシシを買わないかといわれます。スペインはそれらに対し非常にきびしく、モロッコからスペイン入りの時、警察官に徹底的に調べられます。もし持っているのがばれば即刻国外追放です。だからそれらを買うことは非常に決心を必要とします。

また、モロッコは長髪を禁じている故、髪の高い人々(大低ヒッピー)は警官の見ている前で切られています。ネットレスなども非常にやすく手に入り、日本に帰って帰ったら皆欲しがるものばかりで、必ず値切ること。むこうの言い値の半分には必ずなります。とにかく楽しかった……というわけで、元気にやっております。

(筆者は、今年五月、神戸を発ち、スペイン・マドリッドで、フラメンコの修業中)

最高のものを厳選する人に

ロンジン



ロンジン・コメット 〈防水レジャーウォッチ 29,000円〉

スイスの伝統にはぐくまれた
アートの感覚と最新のメカニ
ズムが、この斬新なデザイン
を生みだしました。
世界のエリートに信頼され、

最高のものを厳選する人々
に愛用されてきました。現代
を生きるあなたにふさわしい
時計を、ロンジンの中から
お選びください。



LONGINES

特約店



美甲時計店

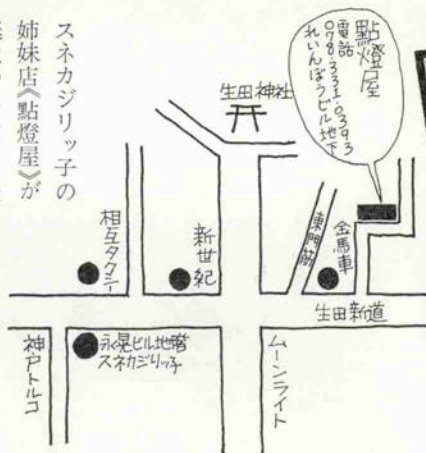
元町店・元町三丁目 TEL331-1798

三宮店・さんちかファンシー・タウン TEL331-8798

スネカジリッ子の姉妹店誕生!!

スネカジリッ子の
姉妹店《點燈屋》が
誕生いたしました
まごころで みなさまの心に
安らぎの灯を
ともしたいと願っています
スネカジリッ子同様に
可愛いがってください

スネカジリッ子
従業員一同





ニューギニア紀行 〈2〉

森 本

勉 〈森本貿易株式会社〉

《シンシン祭り》

本日はシンシンが催される日である。シンシンというのは土人の祭りである。この日は、商店の大半は休み、

みんなシンシンを見に出かける。朝早くから町外れの会場へ、ぞろぞろと人々の行列が続く。ポート・モレスビーにこれ程沢山の人がいたかと思われる程である。シンシンという言葉は、現地で話される簡易英語で、シン



シンシン祭りで扮装を凝らした男の勇姿

(歌う)を重ねた言葉である。(ニューギニヤでは五〇以上)の異った言葉が話され、隣りの部落と言葉が通じないことが普通で、そのため今から一〇〇年ほど前から、ビジン英語と呼ばれる簡易英語のようなものが普及し、今日では、ラジオ放送、新聞もビジン英語で行なわれている。英語を知っていると、学び易い言葉で、半年ほど勉強すれば、ラジオ放送が聞けるようになる)

さて、このシンシンは、盆踊りのようなもので、部落単位で行なわれることが多いが、現在では特に宗教的な意味はないといわれている。従って、部落で行なわれるシンシンは特定の日がなく、随時、何か祝いごと、うれしいこと、金もうけがあった時など、部落単位或は数人のグループで行なわれる。本日は、ニューギニヤ各地より、各部族代表が集る全国大会である。

会場は町外れの競馬場で、午前十時から始まるというので、十時少し前に行ったが、黒山の人だかりであった。入場料六〇セント払って中に入る。通路の両側には、日



盛装したバブア人たちの威容

本の夜店のように店が立ち並び、売子の声がかん高い。コカコーラ、アイスクリーム、ホットドッグ、宝くじ、民芸品などの店から、はては日本製オートバイの展示場まで、大賑いである。

競馬場の一角に、ロープを円形にめぐらせた野外舞台が作られている。その直径五〇メートル位。各部族代表の踊り子達はその横手に待機し、順次、伝統的な扮装で、歌と踊りを披露する。ロープの外側は黒山の人だかりであるので、私は厚かましくロープの内側に入って、坐ってゆっくり見物することにした。

その扮装は全く奇抜で、目を見張るばかりに美しい。様々な装飾を凝らし、部族の特色をてらいう合う。その美しい代表的なものを見てみよう。

頭には、ニューギニヤの有名な極楽鳥の羽や、おうむの羽など極彩色のものを飾り立て、その数は一〇〇本もあるのか。アメリカ・インディアンなどの装いなど比べものにならない。顔は泥絵具を塗り立てる。黄・赤・青が多い。目と口だけを残し顔中塗り立て、プロレスのマスクのようなものもある。鼻には、超特大の鼻輪をぶらさげたり、長さ五〇センチもある棒を真横に差し込んだり、怪奇である。首から幼児のよだれ掛けのような形をした、貝殻で作ったネックレスをぶら吊げる。これを数枚順次、へそのあたり迄ぶら下げているものもある。これは戦士の装いと説明されているので、鎧の役目をするものかも知れない。首には更にビーズのネックレスを数十本も巻きつけているものもある。腰には、みのを着ける。縄のれんのようなものや、日本で昔百姓が用いた腰みのようなものがある。

男も女も似たような扮装であるが、女の方がやや簡素である。また戦士の装いの時、男がつける涎掛けのようなネックレスは、女はつけない。男は槍や太鼓を持ち、男女共上半身は裸である。(槍は踊りの時には持たないことが多い。)

さて踊りは、十人位の一組が横一列に並び、その後ろ

三メートルほど離れて、別の一組が並ぶ。この二組が踊り子である。各組は男女別々のこともあり、混成のものもある。この二組の後方一〇メートルばかりのところに太鼓を持った男達が横一列に坐る。太鼓は長さ七、八〇センチの細長い手太鼓である。これがバンドである。

まずバンド・リーダーが大声で掛声をかけ、太鼓を叩き始めると、他の太鼓がそれに続く。すると踊り子たちは、腰を「く」の字にかがめ、前かがみとなり手拍子を打ち、足を踏み鳴らす。そのうち、第一列の踊り子が、くるりと一八〇度回転し、第二列と向い合う。そして全員唱和して、歌い始める。メロディーは単調で哀愁を帯びている。次に第一列、第二列ともくるりと一八〇度向きを変え、お互に尻合わせに、手拍子を打ち足を踏み鳴らす。歌い踊り続ける間中、腰を屈めたままであるが、方向回転の時は、腰を伸ばし、す早く回転してから、また腰を「く」の字に屈める。この回転の呼吸合わせが、むつかしく、技巧を要するようである。このような踊りを繰り返して繰り返して繰り返す。

踊りは、横隊ばかりとは限らない。円形にぐるぐる廻り、時には円の中心に向ってゆくなど、様々な形で踊りが行なわれる。部族によって踊りの流儀が違ふように見えた。

ロープの外側では、観衆が、押すな押すなと大へんだ。踊り子達は得意満面踊り続ける。踊りが終ると、特に奇抜な衣装や、美人の踊り子は、カメラの砲列にさらされ、「こちらを向け」「にっこり笑え」「もう少し後ろに下ってくれ」など、その騒々しいこと。バスト豊かな美人踊り子は特にひっぱりだこである。

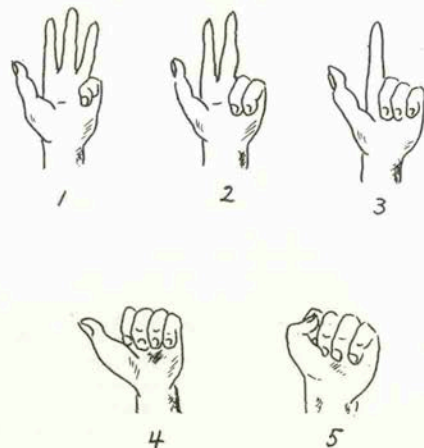
《身振り・手振り》

「おーい、ピーター、これを洗濯してくれ」

ピーターは、ホテルの洗濯係のボーイである。真黒な顔に、白い歯を覗かせ、いつも愛嬌をふりまく。

「このシャツは、テトロンだから、いつものように、水

指折り数え方



で洗ってくれよな」

彼は頭をしゃくり上げる。

「この靴下も、熱湯につけないでくれよ」
彼は眉をひそめ上げる。

これらは、「はい」という身振りである。我々のように、頭を下げて頷くことはしない。頭をしゃくり上げたり、眉を引き上げたりするのである。また、「いいえ」の身振りをする時には、我々のように首を左右には振らない。右または左に、一回だけ、ひょいと振る。それも、大きくはなく、ほんの僅か、右かたに顔を向け、一瞬元へ戻す。言葉で返事をせず、このジェスチャーだけをやられると、最初は面喰う。

数を数える時、彼等も指折り数えるが、我々日本人とは少々違う。(図解をこらんださい) 日本人は、親指、人差指の順であるが、彼等は反対に、小指から親指へと折って行く。日本人なら、手のひらを拡げて、五を示すが、彼等のは、拳を握った格好になる。

手招きは、日本人と同じく、手のひらを下にして招く。大抵の白人、特に英・米人は、手のひらを上にして招くが、ここニュージーランドは日本式で愉快である。

(つづく)

麗わしい慶こびの日のために



株式会社美容室 **エリザベス**

本店 三宮神社山側三上ビル2F TEL 331-8894・4917
 芦屋支店 芦屋市阪神芦屋駅前 TEL 0797-22-4067
 西宮店 西宮市阪急西宮マンション北館1F TEL 67-1294

お貸衣裳 **花嫁衣裳サロン**

畑尾美久子の店 生田神社前 TEL 331-3258
 美容担当 (東京初代 遠藤波津子直流)
 専属結婚式場 生田神社・オリエンタルホテル
 阪急六甲山ホテル・住吉学園・蘇州園他

おんがら屋



きものと細貨

おんがら屋

神戸

西店/三宮センター街・電話 331-8836(代)
 東店/三宮センター街・電話 331-0629
 三宮店/さんちカタウン・電話 331-4303

東京

銀座店/銀座並木通・電話573-5298(代) ヨフクヤ
 渋谷店/東急本店・電話462-3409(直) (5階和装名産街)
 日本橋店/東急日本橋店・電話211-0511(代) (4階和装名産街)
 銀座コア店/銀座インベリアルビル 4F 電話572-8127 (内線294)